

補助金評価シート

区分	重点・ 重点以外	補助根拠	法令補助・ その他補助	開始時期	平成25年7月1日	終期	平成28年3月31日
補助事業名 [下段に制度概要を記載]	新潟市海外販路開拓等支援翻訳補助金 海外への販路開拓や事業提携先の発掘に取り組む市内中小企業等を対象に、技術、製品、サービス等を紹介するパンフレット等の外国語翻訳に係る経費の一部を補助する。						
款・項・目	商工費 商業費 貿易物産振興費						
所属等	観光・国際交流部 国際課 交流戦略室			電話025-226-1622			

年 度		25年度(1年目)		26年度(2年目)		27年度(3年目)	
予算額等の推移	予算(千円)	500		200		200	
	決算(千円)	91		0		60	
補助率		2/3		2/3		2/3	
目 標		補助金を活用する市内中小企業等が年間5社以上 <目標が数値でない場合の評価方法>					
目標に対する達成度(指標)	達成率100%以上						
	達成率80%以上						
	達成率50%以上	60.0%	3社				
	達成率50%未満			0.0%	0社	40.0%	2社
	目標が非数値化 ※取扱基準に記載した評価手法に基づく達成度について記入してください						
補助事業者による情報の公表		事業者ホームページ、リーフレットなど					

評価欄	チェック	a. 補助対象経費は事業の直接経費となっているか	○	e. 指標の推移が維持・向上しているか	×
		b. 補助率は1/2以内か	×	f. 補助事業者による情報の公表は適正に行われているか	○
		c. 補助額が5万円以上になっているか	×	g. 目標は数値化されているか	○
		d. 収入が過剰になっていないか(繰越金が生じていないか)	○	h. 目標は補助金の成果を検証しやすい設定か	○
評価欄	×になった項目に対する今後の取組	<a~fにおける取組> 海外への販路拡大等による企業経営の基盤強化の観点から、海外ビジネスにかかる初期費用への支援を重点的に取り組むため、補助率は2/3以内とした。今後も企業ニーズの把握に努めつつ、補助金のPRに取り組んでいきたい。 <g~hにおける取組>			
	目標未達成の原因分析	<期間(3年)を通して目標達成率80%未満の場合、なぜ達成できなかったか> これまで市内中小企業への補助金の周知を図ってきたが、引き続き認知度の向上が課題。			
① 拡充・改善(補助率, 補助額, 補助対象経費, その他) ② 継続 ③ 廃止 ①~③の評価理由 ※目標未達成の原因分析に該当の場合はその要因を踏まえて今後どうするのかを記載すること 補助金のPRにより多くの問い合わせ(H26:12件)があったが、利用に繋がっていない。引き続き、ホームページやメールマガジンなどを利用して、補助金のPRに努める。また、翻訳した資料は、一過性のもではなく、様々な場面で使用できる恒常的な商談・販促ツール(メリット)になるという認識を広める。なお、企業ニーズの把握に努めるなかで、制度内容の変更により、活用度を高めることが可能かどうか併せて検討する。					